



会に全 ドキュメント The 舞台裏

園芸プログラムの
可愛いベビーゴーヤ



第15回

ディケア「きらり」の リアルな裏側をお見せします!

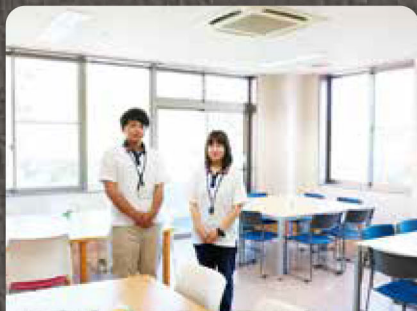
当院の舞台裏を潜入レポートする本企画。
今回は特集記事に登場したディケア「きらり」
のリアルな現場をご紹介します。

今回のナビゲーターは入職5年目のヤングガール中川さんと、同2年目のヤングゲストボーイ森本さん。いずれも今後を嘱望される作業療法士だ。

ホールで出迎えてくださったお二人にカメラを向けると、即座にピー

スサインで決めたり流行歌のようなポーズを取ったりしてくださったのだけれど、あー、サービス精神は嬉しいけど、こういうの困るんですよ。内輪ウケっぽくて誌面に使いにくいし……。

という筆者の引きつった笑顔を察したお二人、すぐさま神妙な直立不動で写真におさまってくださりホッと胸を



あふざけポーズから一転して神妙なお二人。
それでも笑みが残る中川さん（右側）はさすが年の功!?

オシャレな「にんちき」

なでおろす。その場の雰囲気を読んで臨機応変な対応を取れる、とても優秀なスタッフさん達である。

さて、さっそく、「きらり」の現場について伺う。

利用者の方々は、ここでどんな風に過ごされるんですか?

中川「朝、ホールのテーブル席にそれぞれ自由に座られて、朝の会がある。その後フリータイムや各種プログラムがあります」

森本「席は自由ですけど、定位置が自然と決まってきましたね。対人関係の練習のために、あえて席を転々とされる方もいますよ」

プログラムについて教えてください。

中川「発達障害園講座やコミュニケーション講座など、いろいろあります。私が担当しているひとつに『にんちき』があります」

「にんちき」って何ですか?



韓流スターのようにオシャレな斜め持ち(?)で紹介される「にんちき」

中川「認知機能の略で、脳の仕組みを学びながら、注意力や記憶力、問題解決能力などの維持と向上を目指すプログラムです」

講座で実際に使っている教材を持っている教材の文字で分かりやすくとめられている。

「にんちき」ではさらに、日常生活での困りごとにどう対処すればよいかなど、実践的な内容についても学べるという。

力作揃いのクラフト

「僕が中川さんと一緒に担当しているプログラム、『クラフト』の作品も見てもらえますか?」

「こつおつしやる森本さんについていくと、そこには財布やキーホルダーといった革細工、その他さまざまな工芸品が並べられていた。」

森本「皆さんと一緒に作ってるんですけど、とても上手に作る方が多くて驚きます」

中川「この小物も力作なので見てくださ

い。あ、これも是非撮ってください!」
どれも丁寧に手作りされていて、たしかにこのまま販売できそうな力作揃いだ。そして中川さん森本さんともに、ご自身が担当している患者さんの作品を大プッシュされていて、気持ちはよく分かるのだけれど、全て撮影・掲載するわけにいかないのが筆者の立場的につらいところ。



寝起き感満点の休憩コーナー

案内されていて気になる場所があった。手書きで「休憩スペース」と記された薄暗い一角。ちょっとアヤシイ雰囲気である。

こんな筆者の興味津々を察したのか森本さん、「どうぞこちらへ」と休憩スペースの内部に踏み込むやいなや、「こんな風に寝るんですよ!」とその場で実演してくださった。

森本「睡眠リズムがまだ不規則で寝不足のまま来られた人には、ここで仮眠を取っていただいています」

中川「あと退院直後でまだ刺激がしんどい人なども、ここで休んでもらったりしているんですよ」

まだ調子が整わない人たちへの配慮とし



革細工、ペーパークラフトその他



キーホルダーや財布、小物その他